

松江市教育委員会
委員長 内藤富夫 殿

2013年8月22日
核戦争に反対する医師の会
代表世話人 中川武夫
代表世話人 原 和人
代表世話人 住江憲勇

「はだしのゲン」を開架閲覧に戻してください

拝啓

貴職のご活躍に敬意を表します。

本会は核戦争に反対する全国の医師・歯科医師の会です。核戦争の防止と核兵器の廃絶に向けて微力ながら努力をしております。(HP：<http://no-nukes.doc-net.or.jp/>)

8月17日付けの新聞によりますと、貴教育委員会は市内の全小中学校に対して、「はだしのゲン」を教師の許可無く自由に閲覧できない閉架措置にすることを求め、全校が応じていると報道されています。貸し出し禁止も要請されているとしています。

確かに「はだしのゲン」には、多くの市民が一瞬のうちに殺され、被爆者が皮膚を垂らしてさまよっているシーンなどが出てきます。また日本軍が中国で行った婦女暴行や断首の場面も出てきます。これらは子どもたちにとっては残虐なものかもしれません。しかしこれは広島・長崎に投下された原爆が極めて残酷な被害をもたらしたからであり、また戦争という異常事態の中では普通の日本人であっても躊躇なく中国人に残虐な行為をしてしまった事実を描いたものです。

子ども達は一時的にはショックを受けるかもしれませんが、漫画で表現されていることもあり、必ずや核兵器や戦争を無くして平和を求める気持ちの芽生えにつながるものと確信します。

「核戦争を防止する石川医師の会」では県内の小中学校に「はだしのゲン」を寄贈する運動に取り組んでいます。教育委員会を通じて実施した小中学校に対するアンケートでは、既に所蔵している学校からも寄贈希望が多く寄せられています。

また「はだしのゲン」は約20カ国語に翻訳されており、アメリカでは2000校以上で学校教育のカリキュラムに取り入れられているとのこと。貴職の措置を海外の人が知ったら、唯一の被爆国の教育委員会が核兵器の残虐性を訴える本を子どもの目に届かないところに隠し、核兵器の非人道性を隠蔽してしまったと映ることでしょう。

本会は一日も早く「はだしのゲン」を開架閲覧に戻していただくよう求めます。

敬具